

機能性マークについて

商品の機能・物性・加工等については、下記マークで表示しております。

 <p>日本自動車車体工業会に難燃性素材として登録された商品を示すマークです。</p> <p>試験方法: FMVSS No.302</p> <p>基準値: 日本自動車車体工業会が定めた「内装材料の難燃性」の基準を満たすこと。</p>	 <p>水や中性洗剤等で汚れの落ちやすい商品を示すマークです。</p> <p>詳細は、各商品掲載ページをご確認ください。</p>	 <p>アルコール系薬剤のメンテナンスに強い商品を示すマークです。</p> <p>試験方法: 試験片を室温20°Cの環境で70%に希釈したエタノールに24時間浸漬、乾燥後の質量減少率を比較。</p> <p>基準値: 減少率が8%以内(自社基準)</p> <p>※商品の柔らかさを保つ可塑剤が揮発すると質量の減少率が高くなり、商品が硬化します。</p>	 <p>塩素系薬剤のメンテナンスに強い商品を示すマークです。</p> <p>試験方法: 試験片に、濃度1%に薄めた次亜塩素酸を滴下、24時間放置後に拭き取り、表面変化を確認。</p> <p>基準値: 外観の変化が無く良好であること。(自社基準)</p>	 <p>抗菌加工で表面に付着した菌(大腸菌、黄色ブドウ球菌、MRSA)の繁殖を抑えられる商品を示すマークです。</p> <p>試験方法: JIS Z 2801</p> <p>検体の表面に試験菌液を滴下し、35°Cで24時間保存後の生菌数を測定。無加工の試験片(*)を同様に試験し比較。</p> <p>(*)ポリエチレンフィルムを使用</p> <p>基準値: 抗菌活性値 2.0 以上</p>
---	---	--	---	--

お取り扱い上の注意について [ビニルレザー・ポリウレタンレザー (合成皮革)]

異素材との抵触

- ・本皮やジーンズ等の染色が安定しない衣服がビニルレザーに触れると衣服の染料が移行することがあります。これは汚れではなく化学反応であるため、ビニルレザーに移行した染料は、取り除くことができませんのでご注意ください。
- ・雑誌、新聞等の印刷物からビニルレザーへ色移りする場合がありますのでご注意ください。
- ・ビニルレザーは、他の塩ビ製品、スチロール、ABS樹脂、木材塗装面などの樹脂製品に接触すると、可塑剤の移行により互いの製品において表面のツヤ変化や硬化、ひび割れ等が生じることがありますのでご注意ください。

溶剤との抵触

- ・アルコールや漂白剤等の溶剤が付着すると表面にツヤの変化が生じたり、硬化・軟化・変色が生じることがあります。汚れを拭き取る際には、薄めた中性洗剤をご使用いただき、その後乾拭きして水分をしっかりと取り除くようにしてください。

※耐アルコールと耐次亜塩素酸機能は、アルコールや塩素に対して耐性が強いことを示します。変化が起きないことを示すものではありませんのでお含みおさください。

高温物との接触

- ・アイロンやストーブ、照明器具等の高温物に商品を接触させると、表面のツヤ変化や粘着、変形、変色が生じることがあります。安全のためにも高温物に近づけないようご注意ください。

接着加工時のご注意

- ・表面や裏面に接着剤が付着すると、表面のツヤ変化や硬化、変色が生じることがあります。接着加工される場合は、試し接着で確認した接着剤を使用してください。

ポリウレタンレザー(合成皮革)の加水分解について

ポリウレタンを主成分とする合成皮革は、水分との化学反応により加水分解と呼ばれる脆化(表面のツヤ変化・べとつき・剥離等)を引き起こすことがあります。

サンゲツのポリウレタンレザーは、耐加水分解性能に優れた高耐久樹脂を使用した家具用途向け製品で、加水分解促進試験(ジャングルテスト)の実施によりその性能を確認しております。

一方で、ポリウレタン樹脂は空気中の湿気や温度変化による自然劣化だけでなく、塩素・汗・皮脂・紫外線(日光)・ドライ溶剤による膨潤・酸化窒素ガス等の影響を受け、加水分解による脆化が急激に進行する場合があります。日本の気候風土においては、これを完全に防止することは技術的に困難であり、特に使用頻度の高い場所でご使用の際は、ご注意ください。

見本帳掲載商品について

規格について

- ・有効巾やリピートは、標準寸法であり商品の特性上、若干の差異が生じる場合があります。
- ・商品の特性上、湾曲や蛇行、斜行が生じる場合があります。

ウォッシュブル商品について

- ・乾燥機の使用は、お控えください。
- ・脱水は、軽くかけてください。
- ・陰干ししてください。

運搬・保管時の注意

<運搬時の注意>

- ・ロール原反は、重量物のため、人手による荷扱いの際はご注意ください。
- ・多段に積むと荷崩れの原因となるのでご注意ください。

<保管時の注意>

- ・原反にキズやくせ、しわなどが付かないよう、保管の際はご注意ください。
- ・直射日光のあたる場所や高温・多湿・水のかかる場所には保管しないようご注意ください。
- ・塩ビ系樹脂や異素材、溶剤類との接触がないようご注意ください。
- ・原反は、立てて保管しないでください。しわ等の原因となります。

廃棄時の注意

- ・加工後の残材等商品を廃棄する場合は、産業廃棄物として処理業者に委託して処理するか、もしくは自治体の指示に従って処理してください。